

卒業スピーチ

語数: 131語 目標時間: 15分 文の形: 長い1文の骨さがし(総合) ねらい: 入試レベルの1文を分解する

 **場面** 精読ラダー最終レベル。入試長文から「立ち止まりがちな長い1文」だけを集めたスペシャル問題です。3年間の技——かたまり・骨・説明——を全部使って分解しよう。

 **精読とは** 速く読む練習とは反対に、1文ずつ「だれが・どうする・なぜ」まで説明できるように読みます。辞書を使ってOK。
①②…は文の番号です。

読 ある卒業スピーチの一節です。

- ①The thing that I remember most about my three years here is not the big events.
- ②It is the small "good mornings" that we shared on the way to our classroom.
- ③A teacher who taught me in my first year once said that words which we use every day build our hearts, little by little, like bricks.
- ④I didn't understand what she meant then.
- ⑤But now, when I look at my classmates laughing beside me, I know that those thousands of small words have made this warm place.
- ⑥If I could give one gift to the new students who will sit in these chairs next spring, it would be this: don't save your kind words for special days.
- ⑦Use them today, because today is the day that becomes your three years.

 share=交わす・分け合う brick=れんが save=とっておく

問 設問(10点満点) 記号は()に、書く問題は下の線に。

(1)	文②のItは何を指していますか。日本語で書こう。	2点
(2)	「毎日のことばが心を少しずつ作る」という先生の教えがある文はどれ？ 番号で答えよう。	2点
(3)	文⑥のおくりものの中身に合うのはどれ？ ア. 特別な日にはプレゼントをおくって。 イ. 新入生に教室のいすをゆずって。 ウ. やさしいことばを特別な日のためにとっておかないで。	2点 ()
(4)	文①の骨(主語のかたまりの中心語と動詞と補語)を英語で抜き出そう。	2点
(5)	文⑦の「今日が3年間になる」の意味を、自分のことばで日本語にしよう。	2点

答 解答と許容範囲

(1)	ここでの3年間についていちばん覚えていること	①のThe thing that I remember most ～。①で「大きな行事ではない」と言い、②で正体を明かす。
(2)	③	words which we use every day build our hearts ～ like bricks。
(3)	ウ	don't save your kind words for special days。
(4)	The thing ～ is not the big events(中心語: The thing／動詞: is)	that I remember most about my three years hereは全部The thingの説明。 骨は The thing is not the big events。
(5)	例: 何気ない今日の積み重ねが、ふり返ったときの3年間(思い出)そのものになる、ということ。	the day that becomes your three years。①～⑤の「小さなことばの積み重ね」と響き合う結び。

訳 全文訳(自分の読みと照らし合わせよう)

①ここでの3年間でいちばん覚えていることは、大きな行事ではありません。②それは、教室へ向かう途中で交わした小さな「おはよう」です。③1年生のときの担任の先生が、こう言ったことがあります——毎日使うことばが、れんがのように少しずつ、わたしたちの心を作るのだと。④そのときは、先生が何を言いたいのかわかりませんでした。⑤でも今、となりで笑うクラスメイトを見て、分かります。あの何千もの小さなことばが、この温かい場所を作ったのだと。⑥来年の春にこのいすにすわる新入生に1つだけおくりものができるなら、それはこれです——やさしいことばを、特別な日のためにとっておかないで。⑦今日使ってください。今日という日が、あなたの3年間になるのだから。

☆じっくり読みのコツ Level 10 長い1文の分解手順——(1)動詞を探す (2)その前までが主語のかたまり (3)that/who/whichの説明を〔 〕でくる (4)骨だけで意味を取り、説明をあとから足す。この4手順は入試長文のどの1文にも効く。3年分の精読、卒業おめでとう！

■ 記録しよう 得点 ____ / 10 → 8点以上なら次のLevel 10へ。7点以下なら、全文訳を見ながら本文をもう一度読み、(5)の答えを書き直してから次へ。